

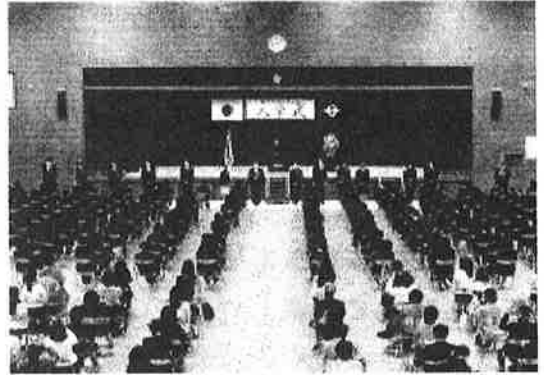
新入生の皆さん！ご入学おめでとうございます。

4月9日（金）、草津市教育委員会教育委員松嶋様や保護者の皆様にご出席いただき、第43回老上中学校入学式を挙行了しました。211名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。呼名の際に返事をしている新入生の皆さんの表情から、これから始まる中学校生活への大きな希望や強い意気込みが感じられました。

校長の式辞では、新入生の皆さんに大切にしてほしいこととして、何点か話をしましたので、その一部を紹介します。

皆さんは今日から、老上中学校の生徒となります。心の中には、これから始まる中学校生活への期待とともに、不安もあるかもしれませんが、わからないことや困ったことがあれば、一人で悩まず誰かと相談してください。老上中学校には、温かく支えてくれる先輩や先生がいますし、**今周りにいる同級生もかけがえのない存在**となるに違いありません。わからないことや困ったことがあれば、一人で悩まず周りの人に気軽に相談してください。

さて、本校では昭和54年の開校以来、**自主創造**を学校の校訓として、自ら考え、正しく判断して行動できる生徒の育成に力を入れています。別の言い方をすると、本校の合い言葉のひとつ、「**考動する生徒になろう**」ということになります。この「考動」とはあえて「**考えて動く**」と表現されています。「自分でよく考え、何かをしようと動くこと」それが考動です。言われてするのではなく、一人ひとりが自分自身で考えて何かをやろうとすれば、新しいことを創り出すことにもつながります。老上中学校でのこれからの三年間、このことを忘れずに中学校生活を送ってほしいと思っています。その上で、皆さんに中学生としての出発にあたり、私から二つのこととお話し、今日からの中学校生活に役立ててほしいと思います。



一つ目は、**自分自身で目標を掲げ、地道に取り組んでいってほしい**ということです。それほど壮大な目標でなくても、例えば、「腕立て伏せを毎日20回する」「読書を30分する」といったことから始めるのも一つの方法です。自分自身で目標を決めて頑張ろうとすることに大きな値打ちがありますし、その目標に向かって地道に努力すれば人は必ず成長します。学校教育の最終目標は、皆さんが社会で自立できる力、要するに独り立ちできる力をつけることです。

二つ目は、**自分自身はもちろん、周りの仲間も大切に生活していってほしい**ということです。周りに目を向けると、一人としてまったく同じ人はいませんし、好みや性格、得意なこと、

考え方も違います。**人の悪口を言わない、人の良いところを見つけてほめる、困った人がいたら勇気をもって声をかける**、そうした積み重ねがあれば、自然と自分の心も豊かになります。そのように異なる一人ひとりの存在があるからこそ、互いに磨かれ、向上していくのだと思います。一人ひとりの命はかけがえのないものです。自分自身を大切に生きていってほしいと思います。・・・(略)

老上中学校 私たちの合い言葉

考動する生徒になろう。

わかりあえる生徒になろう。

きたえあう生徒になろう。

2・3年生の皆さん！進級おめでとうございます。

4月9日、午前中には新任式と始業式を行いました。その際に2、3年生に向けた話の内容を一部紹介します。新年度にあたり、みなさん一人ひとり気持ちも新たに今日を迎えたことでしょう。そして、「この学年では、こんなことに挑戦してみよう。これだけは大切に続けてやっついこう。」と決意していることでしょう。

3年生のみなさん今年はいよいよ卒業後の進路決定の年ですが、それだけが全てではありません。6月に実施される修学旅行や2学期の老中祭を是非、皆さんの団結力で成功させてください。また、部活動にも全力投球していきましょう。

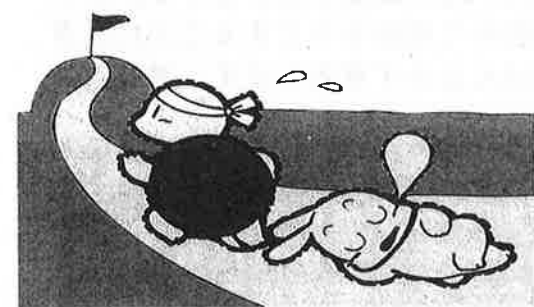
2年生のみなさんは、昨年度に培った老中での楽しい過ごし方を、入学してくる1年生に伝えてあげてください。また、2学期以降は部活動や生徒会活動の中心として学校の雰囲気をもさらに盛り上げていってください。



リモートでの新任式・始業式の様子

《童話：ウサギと亀》

私が始業式の挨拶で話したことを覚えていますか？ウサギと亀の童話の話です。ウサギと亀が競争をし、ウサギは油断をして昼寝をしてしまった。そのすきに亀はコツコツと歩みを進めて、ウサギを追い抜いてしまった。という話です。なぜ、ウサギは負けてしまったのでしょうか、極端に言えば、ウサギと亀では見ているところが違ったのです。ウサギは亀を見ていて、ノロノロとやってこない亀に油断をしたのです。亀はどこを見ていたのかというと、ゴールを見ていたのです。もし、亀がウサギを見ていたら、昼寝をしているウサギを見て自分も休んでしまったかもしれません。ところが亀はそうしなかった。ゴールを見ていたからです。



私が言いたいことは、部活動や学習などすべての学校生活において、ゴールを見ずに隣ばかり、周囲ばかりを見ていたら、亀に負けたウサギ同様、残念な結果に終わる可能性があります。みなさんには亀のようにゴールは何か！をしっかりと見極め、競争相手に惑わされることなく突き進んでほしいのです。

<交通遺児学年進級支援事業>

公益財団法人おりづる会から事業の案内が届いています。ご希望の方や詳細をお知りになりたい方は学校までご連絡ください。

